

山東盆地の風景を考える ワークショップ

第1回（平成26年7月）
発行：和歌山市まちづくり局
都市計画部 都市整備課

山東盆地の風景を考えるワークショップがスタートしました！！

和歌山市では、良好な景観を創っていくために、市全域を対象として取り組みを進めており、今回は山東盆地を対象として、この地区の景観まちづくりをどのように進めていくか、について話し合う景観まちづくりワークショップを開催することとなりました。

今回のニュースでは、7月26日（土）に東山東支所で開催された第1回ワークショップの様相についてお知らせします。

第1回目は景観まちづくりについて学び、その後、参加者それぞれが思う山東の①好きな季節と風景、②好きな風景、③気になる風景について話し、山東の景観資源と課題について思いを共有しました。



ワークショップの主旨の説明

はじめに、都市整備課の中西課長から、本ワークショップの主旨の説明を行いました。

●市の景観づくりの取り組み

- 和歌山市では、平成23年に「和歌山市景観条例」と「和歌山市景観計画」を策定し、和歌山市全域を対象の区域として、良好な景観づくりを進めてきました。
- その時市民アンケートで人気が高かった、和歌山城周辺地区と和歌浦地区に関しては、平成23年と25年に、景観計画において特に景観上重要な地区として「景観重点地区」に指定しました。

●山東地区での景観まちづくり

- 市民の認識にはないかもしれませんが、和歌山城周辺地区や和歌の浦地区だけではなく、和歌山市には田園風景や海岸風景など、他にも様々ないい景観があります。これらのいい景観をみんなで楽しみ、守っていきたいと思っています。
- 市民の認識があまりない地区での景観まちづくりの試みは、山東盆地が初めてとなります。これからこのワークショップをきっかけとして、みんなで山東盆地のいい景観を認識し、景観まちづくりを進めていきたいと思います。宜しくお願いします。

ミニ講演「地域資源を活かした景観まちづくり」

大阪府立大学大学院 下村 泰彦 先生

次に、ワークショップを始めるにあたり、和歌山市景観アドバイザーの下村泰彦先生から、景観まちづくりについてのミニ講演をいただきました。

●はじめに

- ・和歌山市で景観についての取り組みが始まってまだ3年であり、景観という言葉自体があまり知られていない状況です。
- ・地域には、その場所ごとの特性を持った地域資源がありますが、住んでいる人の多くは、自分たちの地域の資源に気づいていません。自分たちの周りを見て、いいところを感じ、どのように景観まちづくりを考えていったらいいのか、そのことについて話したいと思います。



●里地里山の景観資源

- ・里山は緑も生き物も多様で、非常に生態系が豊かな場所です。しかし、この里山の環境は、外来生物やライフスタイルの変化により、現在変わりつつあります。
- ・本来は、四季によって移り変わる落葉樹林がある里山の風景が、景観としての価値を持っています。しかし、この里山の風景は、人の手を加えずに放置していると、次第に落葉樹林が減少し、常緑樹林が増加し、四季が感じられない風景へと変わっていきまいます。
- ・現在全国では、里地里山を保全しようという動きが出ています。里地里山は、水路やため池、里山林や田畑など、人間と自然の関わりが作り出した変化に富んだ自然環境を持っており、農業などの生産活動や地域の人々の生活と深く関わって成立しています。

●これからの景観まちづくり

- ・地域らしさを感じる景観づくりとして、里山の奥の奥山も加えて、農地・集落・里山・奥山をセットで守ることが大切です。
- ・これからのワークショップで地域らしさを表わす資源を再認識し、自分たちの資源を自分たちで守り育てていきましょう。

ワークショップ

参加者が4つの班に分かれて、山東の①好きな季節と風景、②好きな風景、③気になる風景について話しました。

A 班

《好きな風景》

★季節の風景

- ・うぐいすの声、山桜、どんぐり、稲のにおい
- ・里山の紅葉

★田園の風景

- ・田んぼの緑の風景

★集落の風景

- ・永山や木枕の青石の石垣

★見渡す風景・遠くまで見通す風景

- ・四季の郷公園からの山並み
- ・東山から見える雲海

《気になる風景》

★自然の変化

- ・放置竹林が多くなっている
- ・最近鶏冠山の鶏冠の形がなくなってきたのではないかと感じている
- ・川の水が汚くなっている
- ・耕作放棄地が多くなっている

★環境の変化

- ・調整区域の中に新興住宅地が建ち、家から見える風景が変わってきている

《その他》

- ・永山では、どの農家も家族の一員として何百年も榎の木を大事に守ってきている



B班

《好きな風景》

★季節の風景

- ・盆地北側の山々の山桜、西応寺横の児童公園の桜（木枕）
- ・大谷峠から見る紅葉とみかん畑（収穫前）
- ・永山川・和田川の合流地点に植えているコスモス

★田んぼの風景

- ・貴志川線沿線の田園風景、青々とした田んぼとトンボ、澄んだ青空と田んぼに張られた水、稲穂が色づいている風景、金色の田んぼ（貴志川線沿線）
- ・黒岩の段々畑、緑の豊かな風景（黒岩～黒谷）

★時間ごとに変化する風景

- ・北池の風景（朝もや、眺望）
- ・口須佐から東に見る朝日
- ・四季の郷公園に向かう道から西に見る夕日

★見渡す風景・遠くまで見通す風景

- ・西応寺から南に見る眺望
- ・吉礼の峠から見る、山東盆地の風景（視界が開ける）
- ・四季の郷公園に向かう道から北に見る山並み



- ・四季彩館から見る山並み
- ・和田川沿いから見た龍門山

《気になる風景》

★自然の変化

- ・放置された田んぼ、高齢化が進んで農業をやる人がいない、獣害（特に黒岩）
- ・放置竹林⇒山東まちづくりの会で手入れしている（塩ノ谷）

★環境の変化

- ・自然の豊かな風景に合わない建築物が増えている、建物の外観・外壁の問題、敷地いっばいに建物が建って窮屈に見える
- ⇒山東では「こういう家を建ててくださいね」というのを共有すればいい
- ・犬のフンの始末（駅周辺）

《その他》

- ・風景を楽しみながらちょっとゆっくりできる喫茶店がほしい

C班

《好きな風景》

★季節の風景

- ・矢田の山の風景（春になると山がピンクがかり、夏にかけては次第に新緑が濃くなっていき、秋には紅葉する）

★自然の風景

- ・北池の北側にある段々畑
- ・自宅から東方に見える鶏冠山の風景
- ・南畑の竹林



- ・5月上旬から中旬にかけて咲くみかんの花の風景
- ・南畑のみかん畑のみかんが実っている風景
- ・大池の桜
- ・十谷池周辺の山の桜の風景
- ・四季の郷公園に向かう道の両側に広がる田んぼの風景

★集落の風景

- ・足守神社周辺の細い山道のある風景

《気になる風景》

★自然の変化

- ・池が汚れてきた（定期的に池の泥さらいしないと、泥が溜まっていって、池が浅くなっていってしまう）

★環境の変化

- ・貴志川線沿いの宅地開発が気になる

D班

《好きな風景》

★季節の風景

- ・（春）山桜の風景
- ・（夏）初夏のみかんの花が咲く頃の風景／早朝の水田の風景
- ・（秋）高い空。みかんの実った山の風景／紅葉の山、コスモスの風景／稲穂とマンジュシヤゲ（彼岸花）の風景
- ・（冬）早朝、池（北池）に、もやがかかると風景（幻想的）、池から堤の方を見わたせる

★田園の風景

- ・田のグリーンの風景
- ・稲刈りがすんだ田んぼ
- ・田んぼの遠くに電車が走る風景

★夕焼けの風景

- ・山に夕陽が沈む夕焼けの風景（散歩の道すがらに見る）

★自然の風景

- ・田んぼや山など、緑が多い
- ・山と池が特徴
- ・四季の郷公園、広大な自然が感じられる



★神社の風景

- ・足守神社、わらじ絵馬

★人

- ・この地域は横のつながり、会話がある（昔は「箸のこけたのまで分かる」と言っていたくらい濃密なご近所つきあい）
- ・朝、小学生が通学する風景が良い
- ・昔は家に鍵をかけていなかった（今では安全、防犯も言われておりそうもいかない）

《気になる風景》

★自然の変化

- ・自然が少なくなってきた
- ・川が汚れてきた

- ・カウナギ（カワウナギのこと？）やイモリなどの生物がいなくなった
- ・イノシシやアライグマが増えている

★環境の変化

- ・田がなくなって宅地や雑草地に変わりつつあるのが気になる
- ・畑が山になりつつある（放置され荒地になっている）
- ・調整区域で駅から 500mの範囲での宅地化を緩和する運用となってから、宅地が増えた
- ・農業従事者が多いので農地が大半を占めているが、調整区域なので土地はあっても自由に家が建てられない
- ・新しい宅地が気になる
- ・犬の糞が気になるところがある

★風習の変化

- ・昔からの風習がなくなっていて、伝えるのが難しい
- ・昔は鯉採りを行っていて鯉汁を食べていた、東山東では各家の月見団子をつまみに行っていた
- ・東山東と西山東では微妙に風習が違う（引越して気がついた）

発表

各グループのメンバーが、話し合った内容を発表しました。

最後に、下村先生からコメントがありました。

- ・第1回目のワークショップだとは思えないくらい活発な話し合いでした。
- ・四季の変化や、時間の变化による風景の変化についての話や、いい風景が見える場所の話が多くの班で出ていたのが印象的です。
- ・自分では気づけなかった山東の魅力があるということに、今回のワークショップで気づいたのではないかと思います。これからもそういうものを発見しながら、守っていってもらえたらと思います。
- ・農の育成など営みをやりながら、同時に景観も守るなど、何かとセットにした取り組みも大切です。今後が楽しみです。

《連絡》

次回は、**8月30日(土)**を予定しています。次回はまちあるきをし、その後はまちあるきで見つけた資源や問題点について話し合う予定です。

また、8月22日（金）と25日（月）には、東山東小学校の子供たちが地域のお年寄りに話を聞き記録する、ききがきを開催する予定です。その結果もまた報告します。

●事務局・問い合わせ先

和歌山市 まちづくり局 都市計画部 都市整備課

〒640-8511 和歌山市七番丁 23 番地

Tel : 073-435-1082 Fax : 073-435-1367 E-mail : toshiseibi@city.wakayama.lg.jp